



国際ロータリー第2790地区

# 千葉南ロータリークラブ週報

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

創立	1964年3月2日	例会日	毎金曜日12時30分	例会場	オークラ千葉ホテル
会長	榊原 行夫	幹事	小林 透	雑誌会報委員長	瀬谷 研一
事務局	〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階			TEL	043-245-3204

2010年10月第3週号

## 第2287回



平成22年10月15日(金) 点鐘12:30 (曇り)

- ◆ロータリーソング 『手に手つないで』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### ◆お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー／ヴィタリテ・ミュージック  
音楽プロデューサー 大橋 宏司様
- 大橋 玲子様
- 小林 直子様
- 千葉西RC／川島 教昭様
- 社会福祉法人「榎の実会」ひかり学園  
施設長 藤崎 明様 支援課長 武藤 直樹様

### ■ 会長挨拶及び報告 榊原 行夫会長

• 10/22 は、秋季日帰り及び親睦旅行・海上自衛隊館山航空基地の見学となりますが、いろいろと制約があると思いますので、皆様のご協力宜しくお願い致します。

### ■ ご挨拶



皆様、こんにちは。  
本日は、このようなお席にお呼び頂き有難うございます。

11月23日に多古町で「いきいきフェスタTAKO」がございま

す。毎年、バザー一品等のご提供をいただいておりますが、今年もぜひ、お願いをしたいということで参りました。

そして、多古米と野菜セットの販売を今年もしておりま

すので宜しくお願い致します。また、自然薯も販売しております。これは、理事長が自ら水をやりながら一生懸命育てたものです。是非ともご協力の程お願い申し上げます。

### ■ 委員会報告

◇社会奉仕委員会より (金親博榮委員長)

本日は、ひかり学園より米・野菜販売のキャンペーンにお出でいただきました。皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

◇親睦委員会より (北原 俊彦委員長)

- 20日(水)は、「第3分区B合同ゴルフ大会」にご参加の方は、遅刻のないよう宜しくお願いします。
- 22日は(金)、「秋季日帰り親睦旅行及び職場訪問」です。遅刻しないように時間厳守でお集まり下さい。

### ■ 幹事報告

小林 透幹事

• 29日(金)は、千葉緑RCとの合同夜例会です。場所はチャペルにて行いますので宜しくお願い致します。

### ■ ニコニコボックス報告

☆小林 透会員

大橋様、今日は卓話をよろしくお願ひ致します。奥様もごゆっくりお楽しみ下さい。あと...うちの奥さんも楽しんで下さい。

☆瀬谷 研一会員

先週の例会で、録音操作に不手際があり、卓話要約当番の鮫島会員と事務局の太田さんに多大なるご迷惑をお掛け致しました。ホテルの責任者として、深くお詫び申し上げます。その償いとして、本日のお食事は売上ど返しの原価割れ大出血サービスをご用意させていただきます。

☆竹尾 白会員

先日、会社(マリン興業)のゴルフコンペを行いました。多数(41名)参加して下さいました。有難うございました。

本日のニコニコボックス	3,000 円	累計	263,000 円
金の箱	2,190 円	累計	13,400 円

## ■ 出席報告 (会員数40名)

出席者数24	欠席者数16	ビジター 6	修正出席率87.18 %
--------	--------	--------	--------------

千葉県市内例会変更のご案内 [メンバーシップにご利用下さい](#)

千葉RC	月	11/8・15・22	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	11/16	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	11/16	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	11/10	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	—	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	—	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	—	京成ホテルミラマーレ

## ♪ 本日の卓話 ♪

演 題…『音楽の力で白血病の研究を支援』

卓話者… ヴィタリテ・ミュージック

音楽プロデューサー 大橋 宏司様



皆様こんにちは。私は大橋宏司と申しまして、音楽プロデューサーという仕事をしており、作曲もしています。

まず、私が音楽活動を行っている中で、音楽療法というものに触れるチャンスに出会ったところからお話します。恐らく皆さんは音楽療法という言葉は耳にされた方が多いと思います。しかし、実はそれがどのようなものであるかの中身について日本では、「これだ!」というものがまだないのです。そもそも音楽療法という言葉が出てきたのが近代になってからなのですが、私を感じたきっかけとなったのは8年ほど前に70歳を過ぎた私の両親が癌になった時です。特に、母親がすい臓がんのステージ4の末期の状態でしたので、実家のある仙台に行き来をしていた頃です。本人は出来れば苦しまずに命を終えたいということで、私も母の考えに同調しましたので、入院していたホスピスの病室のベッドにスピーカーを置き、小さな音で一日中私の作曲した癒し系の音楽を2週間ほど流していました。母の癌はそのときすでに脳まで転移していましたので、母からのリアクションは全くなかったのですが、病院で毎日ハードな仕事をして働いている医師や看護師の方々が「大橋さんの音楽はとても心が癒される。」と言って下さったのです。母はそこで人生の終焉を迎えましたが、私は何かその時に音楽はすごい力があるなと思ったのです。それをきっかけとして、私は音楽って人の心の深いところで何かを動かすことが出来るのではないかと

考えるようになりました。

日本では音楽療法は国家資格ではなく、皆さんご存じのあの有名な聖路加病院の日野原先生が会長を務めておられる日本音楽療法学会というのがあり、音楽療法士になるための資格はその学会が唯一認定しています。日本の音楽療法の定義は、「音楽の持つ生理的、心理的、社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などに向けて、音楽を意図的、計画的に使用すること。」と難しく書かれていますが、音楽療法の歴史を紐解いてみますと、その言葉がなかった古代エジプト人は音楽を「魂の薬」と呼んでいました。また、ペルシャ人はリュート(日本の琵琶のような楽器)の音によって万病を治していたと言われていました。孔子の言葉に「音楽は生活の調和に役立つ。」とあります。そして、プラトンは「心身の健康は、音楽によって得られる。」、アリストテレスは「情緒のカタルシス(魂の浄化)に音楽が有効である。」、ピタゴラスは「音楽は心身の健康上、大きな治療的役割を持ったもの。」と語っています。さらに、古代ギリシャ人は精神錯乱の発作を抑える手段として音楽を用いた、と語られています。これらは非常に判りやすい言葉だと思いますが、それをもとに近代になって20世紀初頭にアメリカのトーマス・ギルドが、精神病院の人たちのために治療音楽会を始めました。その後、メトロポリタン歌劇場のハーブ奏者であるヴァン・デ・ウォールが世界大戦中の軍の病院で音楽活動を始めました。これは当時、治療音楽と言われていましたが、この病院音楽が音楽療法につながって行ったということです。

2002年の母の死後、私は何か音楽が役に立たないものかと思いつけていたのですが、2003年に病院コンサートをやってみようと思いたち、いろいろな病院に提案してみたところ一番最初に快く受け入れていただいたのが虎ノ門病院でした。その後、続々と開催出来るようになり、お茶の水の東京医科歯科大学付属病院のとても広いロビーでもコンサートを開きました。この病院は小沢征爾さんがコンサートをやったことで非常に話題になったことがあります。私もあるきっかけで医科歯科大の先生と知り合いになり、一年間ほどの準備期間の後コンサート開催の運びとなったのですが、300人ほどの患者さんが集まって音楽を聴いて下さいました。

そのようなボランティア活動を続けながら、音楽って本当に人に力を与えられるものなのだと感じていたところ、白血病を研究されている先生から「白血病は知名度も低く、しかも非常に難しい病気で研究するにも国からお金が出ないし、患者さんが治療を受けるのもとてもお金がかかります。何とか音楽で白血病の支援をしてもらえないでしょうか。」と相談を受けました。何か良い方法はないかとずっと考えていましたが、知り合いのアーティストを集めてチャリティアルバムを作れたらいいなあと、ふと思ったのです。その先生からお話をいただいてから準備期間に約2年かかりましたが、NPO法人(=白血病研究

基金を育てる会)を立ち上げ、趣旨に賛同したミュージシャンの参加を得て「ヴィタリテ(フランス語で「生命力」の意)・ミュージック」というチャリティレーベルを作りました。最初のCDが発売された時、朝日新聞のある記者の方がこの趣旨に賛同して下さり記事に取り上げて下さいました。

白血病の治療は非常に難しく、普通の癌のように固形癌ではなく血液の癌なので化学療法か放射線治療しかなく、手術で切ることが出来ません。社会環境や食べ物の問題があるのかも知れませんが、研究に研究を重ねて一刻も早く治療薬を開発しなければ治らない病気だと言われています。ここ10年ほどで毎年2万人くらいの方々が亡くなっています。これは交通事故の死者よりも多いのです。また、70歳を過ぎて白血病になってしまったとしても、その年齢ゆえ癌という病気の中の一つとして仕方のないこととしても、私は白血病にかかる子供が多いことがショックでした。小児癌の半分くらいが白血病で、生まれた時から白血病という赤ちゃんもいます。子供たちが白血病にかかってしまうという環境を大人たちがいるんな面で研究してなくしたいと思うのです。

日本で白血病の研究を熱心になさっている先生、東京医科歯科大学付属病院小児科の水谷先生という方が先ほどお話ししたお医者様なのですが、この先生が日本で唯一、日本白血病研究基金という公益信託を設立されました。これは、白血病を毎日研究している人たちに研究費の補助をしようという趣旨です。その基金に音楽を通じて何とか力になれないものかと、2006年に作ったCDが“Beautiful Gift”だったのです。制作にあたってはいろいろな方のご協力をいただき、レコード会社を一切通さず自分ひとりでやりました。ニューヨークの有名なデザイナーはこの趣旨に賛同し、世界の子供たちの絵で構成されるパッケージをデザインしてくれて、とても素敵なジャケットが出来ました。定価は2,800円ですが、CDを買っていただくとその30%の840円が基金に寄付される仕組みとなっています。通常は、レコード店などに卸すと中間マージンが発生してしまうので、制作のみならず販売も自分たちでしています。参加していただいた田中健さん、中村梅雀さんはじめ12人のアーティストの方々は、皆さん無償でやっていただき、素晴らしい内容のCDが出来上がりました。中村梅雀さんなどは、地方公演の際に何枚かバッグに入れて公演の合間に宣伝と販売をして下さったり、ご自分のホームページでも紹介して下さいます。

本日は、この“Beautiful Gift”を少し持ってきていますので、私達の趣旨にご賛同いただける方はご協力願えればと思っています。実は今、このCDの第2弾を作成しようとしているのですが、白血病の子供たちをもっときちんと助けたいというのが本音です。現在、白血病の7割が助かるようになってきました。研究費も随分助成されるようになり、だんだん研究熱心な優秀なドクターが育ってきています。そういった先生方に研究費をもっと助成して

あげられる仕組み作りを研究基金で進めています。それに私達も音楽を通じて、一緒に活動しようと第2弾に取り組んでいるところです。また、出来上がりましたら、皆さまにはご協力いただければ有難いと思っています。



今日はどうも有難うございました。

(文責 瀬谷研一)

## ニューオーリンズ国際大会 音楽の街

リズム・アンド・ブルース(R&B)の伝説的歌手で、今は亡きアーニー・ケドゥはかつて、自らの故郷をこう語りました。「あらゆる音楽はニューオーリンズを発祥としている気がしてならない」と。「三日月の街」の愛称で親しまれるニューオーリンズでは、ジャズ、ブルース、ゴスペル、R&B、ロック、カントリー、ラテン、カリブ海、ケイジャン、ザイデコなど、多彩な音楽が現在も演奏されています。

2011年5月21日～25日、ここニューオーリンズで開催されるRI国際大会に参加するロータリアンは、街の豊かな音楽シーンを堪能することができるでしょう。

## 世界食糧デー 温かい給食で学力の向上

ニカラグア・チナンデガの児童たちは、ロータリー17地区のおかげで、登校日には温かい給食を食べています。「多くの子どもたちは町のごみ捨て場の中で育ちました」と話すのは、第6400地区(カナダ・オンタリオ州、アメリカ・ミシガン州)のガバナーです。国連世界食糧計画(WFP)によると、ニカラグアの5歳未満の子どもの20%が慢性的栄養失調であり、最も貧しい地域になるとその数は50%にも上ることです。

WFPでは、特に女子児童の入学の増加を目指してチナンデガのように学校給食を与えています。

世界食糧デーは10月16日。

60・・・途上国における5歳未満の子どもの死因で、餓死に関する割合(%)

25・・・発展途上国で標準体重に満たない子どもの割合(%)

2,300万(人)・・・2008年にWFPで食事を与えられた子どもの数(人)

1979(年)・・・WFPが世界食糧デーを定めた年  
(ロータリーの友10月号エバンストン便りより)



### 第2288回例会

<秋季日帰り親睦旅行及び職場訪問> 移動例会

日時⇒ 平成22年10月22日(金)

08:00千葉駅NTT前発 08:15蘇我駅発

行先⇒ 海上自衛隊館山航空基地

### 第2289回例会

<千葉南RC・千葉緑RC合同夜例会>

日時⇒ 平成22年10月29日(金) 点鐘18:00

会場⇒ オークラ千葉ホテル・チャペル